

たちばな支援学校高校生ボランティア養成講座

たちばな支援学校高校生ボランティア養成講座、1回目に参加してきました。そのときに参加した生徒の感想を紹介します。今まで”障害”という言葉は知っていたけれど、あまり詳しく考えたことがなかったので講座を聞いて、もっと理解を深めたいと思いました。障害にも様々な種類があることを初めて知り、実際に障害のある方と交流してみたいと感じました。

(3年 牛居万美)

たちばな支援学校のことは聞いたことがありましたが、今回初めてこの講座に参加して、障害のある人について初めて知った部分がありました。将来の就職先でも障害のある方と接する機会があると思うので、今回の講座で学んだことを忘れないようにしたいです。

(3年 笠松裕司)

「みんな違ってあたりまえ」ということを改めて知り、それぞれの個性を認め合うことが大切だと思いました。私は将来、看護師や養護教諭を目指していて、障害のある方と関わることも多いと思っています。その時に今回の講座を生かして、どんな人とも公平に接したいです。

(3年 佐々木亜由美)

障害のある子どもたちが、自分で問題を解決させたい時と、助けてほしい時があることを知りました。何でもしてあげるのではなく、何をしてほしいか聞いたりして行動するのも大切だと分かり、もっと関わり方を詳しく学びたいと思いました。(3年 中西彩華)

今日の講座に参加して、私も一人で生きていくわけではないし、周りから助けられていることはたくさんあるので、もし助けが必要な人や困っている人を見かけたら、積極的に助けたいと思いました。今日の講座では助け合いの大切さを知ることができ、とても良い経験になりました。

(3年 蜂谷優羽)

支援学校の所在地は、初めは県の、北部と南部の方に偏っていたけれど、今では和歌山県全体につくられてきたことで、だんだんと障害のある方が生活しやすくなってきていることが分かりました。また、障害のある方でも助けが必要な人もいるけれど、物事を自分でやりたいと思う人もいることが分かったので次のボランティアで生かしたいです。

(2年 石井文菜)

私は、障害についてあまり知らなかったけれど、今回の講座を通して少しでも知ることができたので良かったです。接し方などを考えて、障害のある方が困っていたら少しでも役に立てるように手伝えられたらいいなと思いました。

(2年 大西穂乃花)

この講演を受けて、国民の6.7%の方が障害があるという事実を知りました。障害とは目に見えるものだけではなく身体や知的、精神など外見だけでは分からないこともあるので、人と関わる時には、理解しようという気持ちや仲良くなりたいという気持ちをもつことが大切だと思いました。

(2年 中村美咲)

障害について学習することで“平等”より“公平”を重視する社会に魅力を感じました。共生社会であることが、私たちとの壁を壊し、障害のある方が自信と強さをもてるのだと思いました。この魅力に感化された自分は、これから手話について学ぼうと思いました。

(2年 廣畑真冬花)

この講演を聞いて、今まで知らなかったことを知ることができました。障害のある方と交流する上で、まずは相手のことを理解することが大切だと思いました。中には、助けを言い出せない方もいるので、相手の方が困っているときは、声をかけてあげることが大切です。また、私たちはこのことについて周りの人にも伝えていけたら良いなと思います。

(1年 夫津木海花)

